



# 学校だより

学校教育目標

夢をもち たくましく 挑戦する 児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校  
第30号  
令和5年1月27日発行  
文責 校長 淵上 純

## 卒業壁画制作開始 1/12(木)

1/12(木)5時間目、加唐小中学校伝統の卒業壁画制作にとりかかりました。

今年度は、校門西の白く塗られている壁に描くことになりました。卒業生と在校生、先生方が協力して、卒業式までに完成させる予定になっています。

取りかかったばかりですが、これから少しずつ壁画が見えてくると思います。どのような壁画になるか完成を楽しみにお待ちください。



【制作の様子】

## 給食週間 1/23(月)～1/27(金)



【給食準備の様子】

日本では、明治22年に学校給食が始まりましたが、戦争の影響などによって一時中断され、昭和22年12月24日より学校給食が再開されました。

そこで、12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、冬休みと重なるため、1ヶ月後の1月23日から27日が「給食週間」となりました。

現在は、まだコロナの影響があり、給食をランチルームで全員一緒にとることができず、各教室で担任の先生と食べています。

このような状況でも、毎日、おいしい給食を作っている調理員さん方に感謝をして食べましょう！！

## 寒波襲来(暴風雪警報) リモート授業実施 1/25(水)

24日(火)から唐津市に暴風雪警報(海上)や大雪警報が出されており25日(水)朝は強風や路面凍結等が予報されていました。

それにともない25日(水)は、児童生徒の登下校の安全を確保するために、自宅におけるリモート授業を実施しました。担当の先生方と「Teams」を介して、朝の会から始まり、午前中4時間の授業を実施することができました。



学校内と同様に自宅でもスムーズに活用できたよ 【多久島教頭先生のリモート授業の様子】

うでした。通信環境が整わない場合は電話連絡や課題プリント等で対応しました。



【「給食についてのお話」リモート画面】

4時間目は「給食週間」にともない、養護教諭の森先生から「給食についてのお話」と大川内先生、堤先生が加わり、「食べ物についての絵本の読み聞かせ」がありました。

「給食についてのお話」では、給食の成り立ちと給食のメニューの歴史の説明がありました。

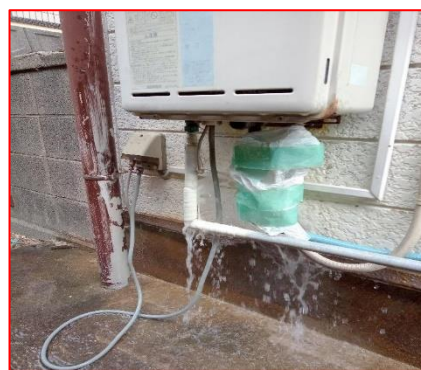
また、「絵本の読み聞かせ」では、お肉を食べ過ぎたライオンさんが野菜の重要性を体験するお話でした。3人の先生の読み聞かせがとても上手で、画面上で拍手👏が飛び交っていました。

## 寒波被害 1/25(水)

寒波襲来に備えて、前日に校舎内のカーテンや職員住宅の雨戸をしめ、水道管凍結による破損を防ぐために少量の水を流したり、タオル等で保護したり対策を行いました。

しかし、学校は無事でしたが、職員住宅で水道管の破損や給湯器内の破損があり、水道が使えない、お湯が出ないなどの被害がありました。すぐに、市教委の施設係に修理のお願いの連絡をしましたが、唐津市内でも同様の被害が多数あり、すぐには対応が難しいとのことでした。

次回、寒波があった場合は、今回の破損個所を参考にして、対応を考えていきたいと思えます。



【水道管の破損】



【給湯器の破損】

## 校内スピーチ 1/27(金)



【「校内スピーチタイムの様子】

1/27(金)朝、図書室で校内スピーチを実施しました。本日の発表者は小学4年生の男子で、「行ってみたい都道府県」というタイトルのスピーチでした。

電子黒板の不調で、準備していたプレゼン資料を映し出すことができませんでしたが、社会の時間に使っている「すごろく日本地図」と言葉のみで発表を行い、臨機応変に対応することができました。

その後、スピーチを聞いていた子どもたちが、スピーチに対する質問や感想を全員が2回以上積極的に発表しました。最後にワークシートへ「声の大きさ」や「話

すスピード」などをチェックして、感想を書き、ふりかえりを行いました。子どもたちが堂々と発表する様子を見て、「一人ひとりが着実に成長している。」と実感することができました。